

治験ネットワークフォーラム報告書

日付：平成 27 年 1 月 22 日（木）13 時～17 時

場所：日本医師会会館

主催：公益社団法人 日本医師会 治験促進センター

出席者：鶴嶋、山田、武石、土屋

①第 1 部：講演 13 時～14 時半

厚労省医政局研究開発振興課による『臨床研究・治験に関する最近の動向』として、幾つかの統計データの紹介に引き続き、新たな倫理指針（人を対象とする医学系研究に関する倫理指針）や臨床研究中核病院の法制化などの説明があった。

続いて、製薬協の藤岡様より『日本製薬工業協会の治験ネットワーク活性化に向けた取り組みについて』と題して、とおとうみ臨床試験ネットワーク、あきた治験ネットワーク、そしていばらき治験ネットワークのそれぞれの活動を紹介頂いた。中でも、いばらき治験ネットワークの活動については、治験実施可能性調査と患者紹介における取り組みについて大変分かりやすくご説明して頂いた。ご発表の中では、ネットワークの特徴も踏まえて紹介頂き、活動の流れや実際の成果についてもご紹介頂いた。

その後、医師会治験促進センターからの報告の後に、出展した 16 のネットワークの担当者が 1 名ずつ壇上に上がり、ネットワーク名のプラカードを持って『1 分アピール』を順番に実施した。いばらき治験ネットワークは事務局・参加施設数を含めた体制と、今回の製薬協による活性化活動の取り組みを通して調査窓口を一元化し、データベースの作成や TV 会議システムによって効率化が図れていることを紹介するとともに、今後は中央 IRB を実施し運営を通して更なる体制整備を行っていくことをアピールすることができた。

②第 2 部：意見交換 14 時半～16 時半

いばらき治験ネットワークの体制と活性化活動それぞれのポスター（84 x 90 cm）2 枚をブースに展示し、パンフレットと資料の配布を行いながら治験依頼者（製薬企業・医療機器企業）や CRO との面談を 16 件行った。中には具体的な案件について調査依頼の話もあがり、ネットワークの宣伝としては大変有意義なものとなった。

③閉会 16 時半～17 時

医師会治験促進センターより、今回のフォーラムについて報告があった。出展者数は 48 名、一般参加者数は 104 名。そのうち、治験依頼者は 65 名（事前に公開された企業数は 36 社）、CRO 14 名（同 10 社）、医療関係者 9 名、SMO 3 名であった。各ブースで行われた面談は合計 230 件（最少 9 件、最大 24 件）に上った。来年度以降もフォーラムを継続していきたい旨説明があり閉会となった。

【ブース出展の様子】

